

2020（令和2）年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

1 事業の総括

2020年度は下記3つの柱を中心として、新型コロナウイルスによる市民生活や市民活動の影響や変化に対して対応をするべく、新しい取り組みを含め事業を展開しました。以下、報告をさせていただきます。

（1）市民活動の発展と継続のための支援事業

市民活動団体の活動の場の提供として、引き続き「藤沢市市民活動支援施設（本館：市民活動推進センター、分館：市民活動プラザむつあい）」の指定管理者として管理運営を行っています。（第4期指定管理期間（5事業年度）における3事業年度目）

2020年度は新型コロナウイルスの影響により2001年からの施設設置後初となる長期休館期間が2回ありました。

参考：①2020年3月6日～2020年5月30日（4月1日～3日までは一時的に開館）

②2021年1月13日～2021年3月7日

休館期間中は電話による相談受付や、スタッフによる印刷代行を行いました。また、講座やイベントのオンライン開催等、施設が使えない中でも出来る支援に取り組みました。印刷代行については、特に年度の切り替わり時期となり総会等を控えていることもあり、登録団体からは高く評価していただきました。

休館や利用制限等の影響により、施設全体の利用件数・利用者数に大幅な減少が見られますが、その状況下においても、各施設の特性を活かし、支援施設としてできることを率先して行ってまいります。

なお、同じく場の提供事業である「貸会議室『フジサワラボ』（当団体入居ビルの別階）」については、2020年度の総会において収益化の見通しが無い状況において事業終了に向けて準備を進めている旨の報告をさせていただきました。一方、新型コロナウイルスにより、市民活動支援施設や公民館等の行政施設、近隣の民間貸会議室が使用できない状況において、市民活動団体の活動場所のニーズが一定数あることを踏まえて事業を継続しました。

利用料収入はある一方、事業維持に向けた収益化については見通しが立っていないため、ゆるやかな事業終了を視野に入れ、継続の可否については引き続き検討する必要があると考えています。

(2) 市民活動への参加機会の拡充を図る支援事業

若者・現役世代・シニア世代等様々な層への市民活動参加機会の提供を行いました。

特に、学生等に向けた NPO へのインターンシッププログラムは 7 年目を迎えました。毎年、プログラムの最後にはワカモノの活動の成果を発表する場として、成果発表会を開催していますが、今年はコロナ禍ということもあり、例年より時期を遅らせてオンライン（ZOOM）配信で行うという初めての試みでした。コロナ禍で活動が減っている中で、ワカモノの活動の場を作りたいという想いで企画していたので、ワカモノ自身が活動を通して「もっと活動したかった」と意欲を持ってくれたことはプログラムのひとつの成果だと考えています。

なお、2020 年度のプログラムは、クラウドファンディング（※）で集めたご支援をもとに、運営してきました。また、藤沢市市民活動支援施設のサポーターの方々からも「はがきプロジェクト（後述）」にてご支援いただきました。皆様の温かい応援のおかげで無事にプログラムを実施することができ、感謝申し上げます。

※「ワカモノと NPO がつながって地域を知るプログラムを続けたい！」支援総額 275,000 円

https://camp-fire.jp/projects/view/299680?list=search_result_projects_popular

(3) 非営利組織の評価に関する研究と、自己診断による支援事業

前年度に引き続き、(一財)非営利組織評価センター(JCNE)協力のもと完成した「組織診断ツール(自己診断シート「組織を支える17の視点」)」を活用した事業展開を進めました。

本ツールを広げるべく、神奈川県助成事業である「かながわボランティア活動推進基金 21(事業所管部署:神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター基金事業課)」の 2020 年度ボランティア団体成長支援事業に応募し、選考の末選定されました。(後述)

本事業の支援対象である市民活動団体に加え、地域の間支援組織(NPO支援センター)にも参加・協力いただくことで、活動相談等のスキルアップの機会としても行っており、両輪の支援を行うことで地域の支援力のボトムアップを計っています。

なお、17の視点を活用した事業の収益化については、仕組みづくりをしている状況であり、補助金・助成金等に依存しない運営を目指すべく、仕組み構築が急務だと考えています。

参考：基金 21 団体成長支援事業の目的

①事業に応募する市民活動団体に対して

組織内の課題が見える化する。シート集計結果から、課題解決への道筋を見つけだし、組織の変化(改善)につなげる工夫の取り組みを図ること

②事業に参加する中間支援組織に対して

本事業の協力サポーターとして運営団体との共同作業を行うとともに、団体伴走支援を通して支援ノウハウを学ぶことで活動相談対応のスキルアップを目指すこと

(4) 新型コロナウイルスによる市民活動のニーズ変化に対応するために

新型コロナウイルスに関して2度のニーズ調査により見えてきた団体活動支援として2つのプロジェクトが動きました。調査研究結果や日頃のNPO活動相談などの多くが「活動が出来なくなり、収益がなくなった」という資金面での悩みでした。さらに、緊急事態宣言解除後も動き出せていない団体は多く、団体メンバーの高齢化もあり、活動を辞めてしまうケースも出てきている中で、直近の支援施策として財政的支援は必要であると判断しました。

そこで「NPOのためのウィズコロナ応援基金藤沢（後述）」を立ち上げ、活動中止や縮小を余儀なくされた市民活動団体に対して助成を行いました。本事業では当団体理事の皆様にも審査員としてご参加をいただき様々な意見等いただきました。

また、政府より配布されたマスクの収集を行い、必要とする福祉施設や市民活動団体への寄贈プロジェクトを実施、こちらも協力団体の他、理事の皆様にも回収BOX等の設置等にご協力いただき実施をしました。

前述の通り、市民活動支援施設（市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい）では、休館中も電話での活動相談や印刷等の作業代行を行うことで、利用者の立ち入りが制限される中でできる限りの対応を実施しました。また、支援施設、そして「ゆくり庵」においては、感染症対策のため多くの事業をオンラインに切り替えて実施しました。多くの団体が活動できなくなる中で、より団体に寄り添ったサポートの必要性を感じ、ウィズコロナの環境で市民活動団体に求められる技術も積極的に講座内容に取り入れてまいりました。

オンラインコミュニケーションツールが急速に発達、浸透したことは非常に大きく、「市民活動プラザむつあい」では、外国と繋いで現地とリアルタイムに会話ができる企画や、地域の名所を公民館にいながら知ることができるオンラインまち歩き企画など「離れていてもできること」を実感するための講座を実施しました。結果としては講座からそのまま相談につながる流れや、地域団体と一緒に企画をつくれたことなど、さまざまな困難が会った中で、次年度につながる成果を得られたと考えます。

「東京オリンピック・パラリンピック」については2021年に延期が決定したことで「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」事業もスケジュール等が変更となりましたが、引き続き機運醸成に向けたイベントの実施や応援団員のフォローを進め、次年度に向けた準備を進めています。

本事業報告書では、各団体の法人格は、略称で表記しています。

(NPO法人)	-----	特定非営利活動法人	(認定NPO法人)	---	認定特定非営利活動法人
(公財)	-----	公益財団法人	(一財)	-----	一般財団法人
(一社)	-----	一般社団法人	(株)	-----	株式会社
(有)	-----	有限会社			

2 事業の内容

(1) 市民活動団体等の組織運営および活動支援に関する事業

ア 市民活動団体等への団体交流の場の提供（藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

参加者同士のネットワークの促進を図った交流機会の提供として、課題解決のためのアイデア提案事業「フジサワアイデアソン2020～ポストコロナの子どもを取り巻く環境を考える～」や「クリスマスオンライン交流会」、市民活動団体の交流事業として「プラザdeカフェ」や「六会を知る！オンラインまち歩き」など、合計9回開催した。

- ①日時 年間
- ②場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、六会公民館、六会市街、Zoom（オンライン）
- ③従事者人員 7名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

イ 市民活動団体等の活動における共通の課題についての研修会の開催

（藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

市民活動団体の活動における共通の課題について、通年実施している活動支援関連講座を8回（オンライン・オフライン）、PC 関連講座を8回（オンライン・オフライン）実施した。オンラインについては、「Google Meet」や「Zoom」等オンライン会議ツールを活用したリアルタイムの講座と、Youtube を活用した収録配信講座等を実施した。

参考：推進センターマネジメント講座「NPO 入門～知っておきたいNPO のこと～」

<https://www.youtube.com/watch?v=2MOXW61ZaI0>（現在非公開）

- ①日時 年間
- ②場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、Zoom
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

ウ 地域版組織診断システムの運用

「組織診断ツール（自己診断シート「組織を支える17の視点）」を活用した事業展開を進めた。「かながわボランティア活動推進基金21」を活用した(A)「非営利組織のための第三者組織評価業務」やツールの認知・普及を進めるために(B)及び(C)を行った。

A 「セルフチェックによる組織課題の可視化と組織のリデザイン事業」

かながわボランティア活動推進基金 21 における 2020 年度ボランティア団体成長支援事業に応募し、採択される。17 の視点を活用し、市民活動団体（本事業の参加団体は「支援対象団体」と呼称）の現状をデータ化することで、団体に合わせた課題解決手法の提案など適切な伴走支援を行う他、必要に応じて第三者評価を受ける準備を支援する。

また、本事業は、中間支援組織（県内 NPO 支援センター）に協力をいただき、運営団体との共同作業を行った。それにより、支援対象団体への伴走支援を通して支援ノウハウを学び、市民活動団体への活動相談対応のスキルアップを目指してもらう。

参考：協力サポーター一覧

おだわら市民交流センターUMECO	とつか区民活動センター
さがみはら市民活動サポートセンター	鎌倉市市民活動センター
ひらつか市民活動センター	事務局 ※担当地域外の団体支援のため

参考：支援対象団体等まとめ

支援対象団体一覧	伴走支援方針	伴走支援専門家
NPO 法人ころもみ	中期プラン	藤沢市民活動推進機構 手塚 明美
NPO 法人小田原山盛の会	資金調達	藤沢市民活動推進機構 手塚 明美
ふらっとステーション・とつか	ボランティア意識	NPO 法人 CR ファクトリー 北本 若葉氏
NPO 法人横浜移動サービス協議会	組織のイメージ	NPO 法人男女共同参画おおた 理事長 坂田 静香氏
ちゅうおうくらしねっと	業務分担	中小企業診断士 伊豫田 竜二氏
NPO 法人相模原こもれび	人材	さがみはら市民活動サポートセンター センター長補佐 大谷 聡穂氏
NPO 法人鎌倉広町の森市民の会	若い人の魅力	モデレーター 青木 志保氏
NPO 法人鎌倉てらこや	将来ビジョン	鎌倉市市民活動センター センター長 西畑 直樹氏
子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋	意識の共有化	NPO 法人 CR ファクトリー 高橋 葉子氏
親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾	業務分担	ひらつか市民活動センター センター長 坂田 美保子氏
神奈川骨髄移植を考える会	キャッチフレーズ	藤沢市民活動推進機構 手塚 明美

B 「17 の視点」普及のための広報及び解説の実施

「(一社) ソーシャルコーディネートかながわ」主催事業「NPO 法人向け経営・資金調達セミナー 第 2 回目」における講師として 17 の視点の解説及び 17 の視点体験により作成した「集計結果表」の読み取り方の説明などを実施した。

C NPOに向けた組織診断の実施

上記Aにある「基金21」事業における支援対象団体選考から落選した市民活動団体2団体(※)に対し自己診断シートの配布を配布。回収後、集計結果表と結果から読み取れる事項に関して、団体関係者への説明をメールや電話等で行った。

※NPO 法人ぜんしん、湘南いきいきリンパの会

- ①日時 A 年間、B 2021年2月12日、C 2020年11月頃
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、各組織事務所等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 診断実施団体、市民活動団体関係者、全国中間支援組織関係者

エ 市民活動団体等への財政支援による組織基盤強化事業

市民活動の財政的支援を目的に(A)及び(B)を実施した。

A クラウドファンディングサイトの運営

市民活動の財政的支援を目的に、クラウドファンディングサイト「FAAVO 湘南」の運営と、「CAMPFIRE」「GoodMorning」での運営サポートを行い、9,106,020円の資金調達を支援した。

コロナ禍といった喫緊の社会課題に対して何らかの解決を図ることや乗り越えようといった動きが様々な動きが全国各地でみられ、その影響もあつてか本年度の件数は2桁を超え、支援総額も昨年度に比べ2.2倍という成果となった。また2021年6月末をもってFAAVOというサービスが終了することから、2021年3月より「CAMPFIRE パートナー」として事業を継続することとなった。NPO等の活用事例も増えていることから、今後も支援ツールの一つとして確立されていくことを見込んでいる。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者、またその支援者、関心のある市民

参考：FAAVO湘南支援プロジェクト内訳

起案者	支援金額	達成率	支援者	開始	期限
さむかわ音楽ひろば	60,000	20%	21人	2020/3/17	2020/4/15
鎌倉ボードゲームバー	0	0%	0人	2020/4/6	2020/5/15
「コロナに負けない藤沢の店たち」実行委員	1,691,000	169%	178人	2020/5/3	2020/6/1
おひさまのわプロジェクト	154,500	103%	39人	2020/5/15	2020/6/30
地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム サポートメンバー	275,000	28%	33人	2020/8/1	2020/9/20

逗子海岸営業協同組合 クラウドファンディング実行委員会	1,162,000	39%	141人	2020/8/4	2020/9/20
(N) ウェルフェアポート湘南	3,450,520	173%	356人	2020/8/18	2020/9/29
二宮尊徳の会	327,000	93%	35人	2020/12/12	2021/2/28
Knowledge Base	1,966,000	103%	18人	2021/1/1	2021/2/18
農家レストランいぶき・いぶき農園	34,000	7%	7人	2021/3/26	2021/4/30

B 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた団体への助成事業

2019年末からの世界的な新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、「NPOのためのウィズコロナ応援基金藤沢」事業として、活動の中止や縮小を余儀なくされた市民活動団体に対し助成を行った。寄附については個人寄附や寄付募集サイトの利用、株式会社伊藤園からのご寄附を活用させていただき、8団体に対し総額348,400円の助成を実施した。

参考：助成団体一覧

団体名	
鶴沼室内楽愛好会	藤沢家事介護 W.Co えんじょい
湘南アルゼンチンタンゴダンス同好会	NPO 法人森の仔じゆうがっこう
藤沢合唱団	NPO 法人自由創造ラボたんぼぼ
日本語こんぺいとう	湘南市民ワークショップ

オ 市民活動団体等への物品等の寄贈による活動支援事業

政府が配布した布マスクを不要な世帯から寄贈してもらい、需要が高い施設等に配布を行った。(収集枚数：約3,000枚、配布施設：11施設)

- ①日時 2020年6月から2021年3月
- ②場所 法人事務所、フジサワラボ、協力団体活動場所等
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 活動が困難になっているNPO・市民活動団体、介護施設や高齢者宅、児童施設の利用者及びスタッフ等

カ 災害復興活動団体への支援事業

各種イベント内での被災地製作製品等の頒布を通じて支援金をお預かりし、その資金を元に4台のPCを整備・再生を行った。また、「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(通称「みんなかな」)※」との連携を進めている。

※神奈川県が大災害の被災地となったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期に亘り支える仕組みをつくるため、県内で活動する3組織(一社)ソー

シャルコーディネートかながわ、認定 NPO 法人市民セクターよこはま、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク) が主体となって進めている。

- | | |
|--------|-------------------|
| ①日時 | 年間 |
| ②場所 | 藤沢市市民活動推進センター |
| ③従事者人員 | 2名 |
| ④受益対象者 | 復興支援事業に興味がある団体と個人 |

キ 各種市民活動助成金審査会への参加協力

市民活動団体へ財政的支援を実施している組織への協力（審査会等への参加、アドバイス等）を行った。

- | | |
|--------|-----------|
| ①日時 | 年間 |
| ②場所 | 助成組織の事務所他 |
| ③従事者人員 | 4名 |
| ④受益対象者 | 各種助成組織（※） |

※参考：参加助成プログラム及び審査会等

- ・（公財）かながわ生き生き市民基金・大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム・中央ろうきん社会貢献基金
- ・平塚市、綾瀬市、相模原市、二宮町、鎌倉市、藤沢市

（2）市民活動および市民活動支援に関する調査研究・情報発信事業

ア 関連情報の収集と発信事業（藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

本年度は、市民活動促進に関する情報を1,710件（※1）収集し、ホームページやメールマガジン等、様々な媒体を活用し、5,928件（※2）発信を行った。

引き続き、レディオ湘南（藤沢エフエム放送株式会社）の「palette～湘南ライフをあなた色に～」内において、当法人紹介番組「NPO café」による情報発信を行った。また、2016年度から放送が始まった本番組は通算250回を超えた。コロナ禍でスタジオではなく、ほとんど電話での出演となり、ゲストは音声を事前に録音・編集して放送を行った。

- | | |
|--------|-------------|
| ①日時 | 年間随時 |
| ②場所 | 情報の届く範囲 |
| ③従事者人員 | 10名 |
| ④受益対象者 | 市民活動に興味のある者 |

※1：収集情報数：1,710件

※持込形態内訳

来館：227件、郵便：1,266件、庁内メール：157件、FAX：6件 Eメール：19件

スタッフ持込：35件

※情報形態内訳

団体PR 153件、発行物 974件、イベント 532件

ボランティア募集 12件、NPO支援情報(助成金等) 176件、その他 39件

※2：情報提供数：5,928件

※内訳

情報ラック 918件 掲示板 563件 ファイリング 1,658件 メールマガジン 382件

HP(イベント情報) 518件 情報クリップ 198件(イベント情報、募集情報等)

市民活動コーナー 1,632件(17団体×年間6回×16箇所(市民センター・公民館))

ウスイホーム(株)発行情報誌への藤沢地区イベント情報提供 13件

レディオ湘南「palette」による情報発信 46回(※)

※法人自主事業紹介、市民活動団体紹介、市民活動支援施設事業紹介等

イ 市民活動・社会貢献活動に関する調査

①新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急アンケート(藤沢市市民活動支援施設事業として実施)

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、市民活動にどのような影響が及ぼされたのか、例えば、イベントやセミナーの中止による損失の状況等を把握すること。また、これを機に運営の工夫点などを可視化し、仕組みの拡充を図れるようにする。(回答数 33件、調査はウェブフォームおよび調査票のダウンロードにより実施)

②with コロナ社会の市民活動状況調査(藤沢市市民活動支援施設事業として実施)

上記①を踏まえ、主に藤沢市内で活動されている市民活動団体が継続的かつ安心・安全に活動ができるよう、with コロナ社会への対応状況を明らかにするために実施した。(対象は、2020年11月5日時点での「藤沢市市民活動支援施設の登録団体」414団体と、「藤沢市内に主な事務所を置くNPO法人」211団体のうち、重複等を除く529団体)

※(3)ア-1及び2指定管理施設(藤沢市市民活動支援施設)事業として実施

③市民活動支援に関する研究

他市NPO支援センターや(一社)ソーシャルコーディネートかながわへの職員出向により、藤沢で培った市民活動支援のノウハウ移転や市民活動支援に関する研究を行っている。

- ①日時 ①2020年4月1日～4月30日(木) ※3月15日(日) 配布開始
②2020年11月10日(火)～2021年1月8日(金) ③年間
- ②場所 ①及び②藤沢市内③逗子文化プラザ市民交流センター、かながわ県民活動サポートセンター9階アドバイザー相談窓口
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 市民活動団体および市民

ウ 市民活動関連研修会への参加・出席・協力および視察受け入れ

市民活動支援力の向上に必要と思われる研修に年間13回参加した。また、インターンシッププログラムを3団体(※)受け入れた。

※(N)アズヴェール藤沢スポーツクラブ、障がいのアナ、(認N)藤沢市民活動推進機構

- ①日時 年間随時
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 スタッフ、市民、中間支援組織、行政、企業他

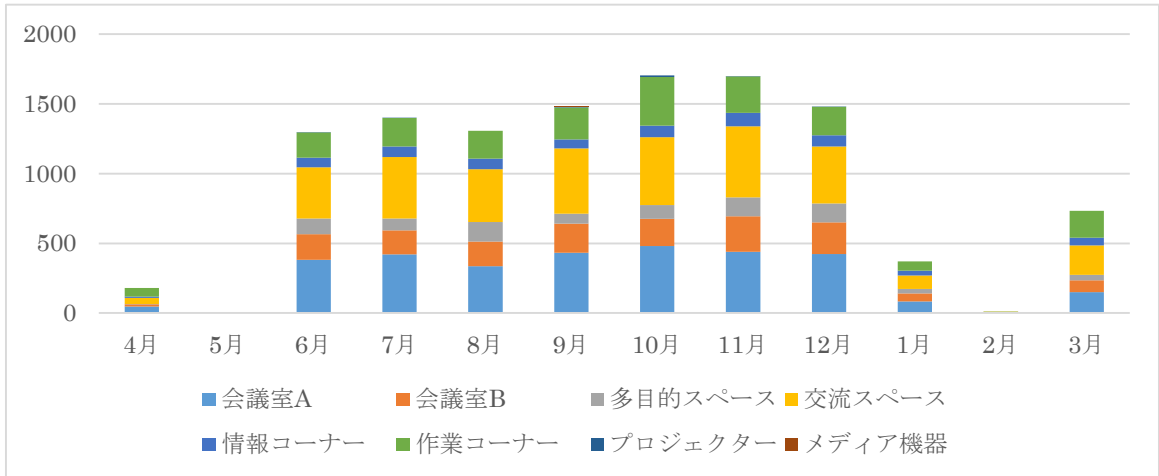
(3) 市民活動を支援する施設の管理運営事業

ア-1 藤沢市市民活動支援施設 本館：藤沢市市民活動推進センターの管理運営

藤沢市における市民活動支援施設を指定管理者として管理運営を行った。2018年4月1日から2023年3月31日までの5事業年度にわたり、当団体が指定管理者に指定されており、今年度は3年目の管理運営となる。本書冒頭のコメントにある通り、2度の休館期間がある中でも印刷代行等の支援サービスを展開した。

主な業務内容：施設管理業務・団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告(下記表は人数)

- ①日時 年間(開館212日)
- ②場所 市民活動推進センター
- ③従事者人員 15名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



藤沢市市民活動推進センター利用者数及び件数

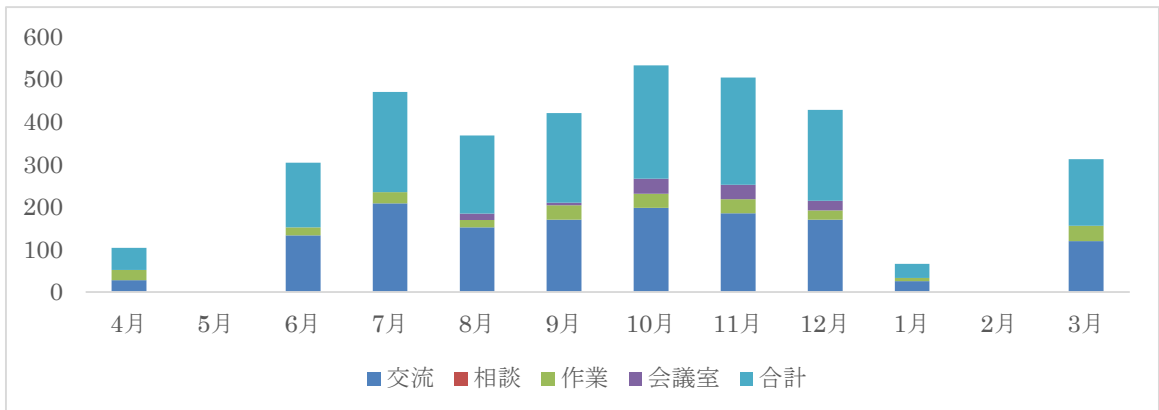
年間延利用者数：11,361人 1日利用平均人数：53.59人
 年間利用件数 ：4,219件 1日利用平均件数：19.90件

ア-2 藤沢市市民活動支援施設 分館：市民活動プラザむつあいの管理運営

上記「ア」同様に藤沢市市民活動支援施設分館の施設管理運営を行う。休館期間中の対応や利用者の制限については本館と同様である。

主な業務内容：施設管理業務・団体登録業務・フロア管理・作業機材管理（下記表は人数）

- ①日時 年間（開館 210 日）
- ②場所 市民活動プラザむつあい（六会市民センター 2階）
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



市民活動プラザむつあい利用者数及び件数

年間延利用者数：1,754人 1日利用平均人数：8.35人
 年間利用件数 ：965件 1日利用平均件数：4.60件

イ シェアオフィス事業（寿ビル 301 号室）

共同オフィス機能を有した施設管理運営業務により、当団体の他、株式会社 1 団体、一般社団法人 1 団体、NPO 法人 2 団体、その他 2 団体が入居して活動をしている。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 2 名
- ④受益対象者 団体（営利・非営利問わず）および市民

ウ レンタルスペース事業（寿ビル 201 号室：フジサワラボの管理運営）

コロナ禍において公共施設では対応できない時期があり、団体の活動の場の提供に運営を行った。フジサワラボ使用申込書を作成し、スムーズな貸館運営を目指した。

賃貸料に匹敵する収入はなく、今後の管理に力を発揮できるように努めたい。また機構独自企画によるイベント等も検討したが、コロナ下での会場参加型を断念した。

（利用団体 17 団体、利用件数 237 件 ※使用件数は前年度比 7.65 倍）

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 3 名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

（4）市民活動の普及啓発および推進事業

ア イベント等プロデュース事業

本年度は感染症予防の観点からイベントが中止となるケースが増えたが、代替としてオンラインでのイベント実施が主流になってきたことから、各種イベント等の企画へ参画し、市民参加の推進を図った。その結果、ボランティアやインターンとして主に学生や20代の社会人を中心とした世代への新たな機械提供として、述べ55人の地域参画をサポートした。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 3 名
- ④受益対象者 まちづくりに興味関心ある一般市民

参考：参画事業内訳

イベント名	日付	ボランティア数
お話のプロが教える「絵本の音読」 @メールでご案内を送信	毎月第3木曜日	24名
～ビッグウェーブ再集結！～1年前オンラインまつり @オンライン配信	2020年7月23日（木・祝）	2名
プラザ de カフェ バナナ農家の暮らしを知る	2020年8月18日（火）	4名
カカオ栽培から見える世界の流れ	2020年10月3日（土）	2名
湘南ふじさわジャズミーティング	2020年11月7日（土）	7名
クリスマスオンライン交流会 2020	2020年12月20日（日）	2名
みんなの歌をひとつに～オンライン録音会～	2021年1月30日（土）	6名
フジサワアイデアソン～ポストコロナの子どもを取り 巻く環境を考える～	2020年3月18日（木）	5名
社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププ ログラム成果発表会	2021年3月20日（土）	3名

イ サポートクラブの運営

幅広い市民の力を結集する仕組みとしてサポーター制度を構築し、事務局運営を行った。コロナ禍の中、サポーターの関心低下等を抑制するため、2020年7月より「サポートクラブレター」を毎月発行、同年11月28日に交流会「みんな今何している？」を開催した。

また、藤沢市役所本庁舎や湘南台駅地下通路における市民活動団体の紹介パネル展示の作業補助や、支援施設主催の各講座等への参加や記録補助を行った。

サポートクラブ独自企画として、藤沢で活躍するワカモノへの活動支援のため、書き損じハガキ寄贈による寄付活動（ハガキ収集や集計作業含む）「はがきプロジェクト」を行い、495枚のハガキを換金することで21,645円を寄付した。

※サポーター133名、アドバイザー28名（2021年3月31日現在）

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動を行っている、又は行おうとする市民

ウ ボランティアやインターンの積極的な受入および受入協力団体の育成事業（藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

市民の市民活動参加意識の促進を目的として、A. 「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2020」を行った。また、前年に引き続き、B. 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業を実施している。

A「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」の事務局運営を行った。（参加団体：3 団体、ワカモノインターン：8 名）

高校生・大学生・専門学生・大学院生からインターン（※）を募集し、約 5 か月間継続的に責任を持って NPO の活動に参加するインターンに対し、活動奨励金を助成する。

この経験を通じて、将来地域で行う公益的市民活動を担う人材が育成されること、そして地域の NPO における組織基盤の強化が進むことを期待して実施した。なお、本年度は藤沢市市民活動推進センター協力のもと事業を実施し、オンラインを中心に取り入れて行った。

※高校生：35 時間以上（上限 80 時間）、ワカモノ：55 時間以上（上限 100 時間）

B 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業

学生：6 名（神奈川大学、多摩大学、日本大学、大妻多摩中高）

LITALICO ワークス（横浜戸塚を経由して藤沢や横浜など近隣センターから受け入れ）

受け入れ 3 名 説明会 3 名

おしごとチャレンジ藤沢（運営：(N) ドリームエナジープロジェクト）1 名

- | | |
|--------|--|
| ①日時 | 年間 |
| ②場所 | 藤沢市市民活動推進センター、藤沢市市民活動プラザむつあい、各市民活動団体の活動場所等 |
| ③従事者人員 | 10名 |
| ④受益対象者 | 市民活動団体関係者・興味のある市民 |

エ かながわ人生 100 歳時代ネットワーク連携事業

定年後のセカンドライフに市民活動の普及や周知は欠かせない。神奈川県では行政、大学、企業、NPO 等が情報を共有・協働するネットワークを構築し、当団体はメンバーとして活動をしている。2020 年度は「この指とまれプロジェクト※」がスタートした。※メンバーがプログラムを企画・提案し、そこにメンバーが協力しプログラムを実施している。

当団体は「現役世代が働きつつも可能な地域活動のスタートアップ研修」の企画と実施を提案し、2018 年度と 2019 年度の 2 年間、県内のモデル企業で実証した支援プログラムをベースに、「参加企業の CSR 部門等と協働した参加団体に適合する研修プログラム」を作成した。本企画は県 HP にて公開され企業等からの申込を随時実施している。

- ①日時 年間
- ②場所 団体事務所等
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 一般市民、地域活動に興味関心のある企業関係者等

オ 社会貢献活動の推進および支援事業

前年度に引き続き、社会の利益に資する活動をするものに対し研修事業等の支援を目的に、「六会人材センター（※）運営事業（六会地区郷土づくり推進会議業務委託事業）」を実施した。※地域の中の課題を共に考え、お困りごとを地域の人たちの協力により解決策を探り進めることで、地域市民の交流を図り市民意識の活性を目指す活動。2020年度はコロナ感染対応のため電話やメールでの相談、登録対応を中心に進めた。また、「市民活動プラザむつあい」と連携し活動紹介を実施した。

※2020年度実績：団体登録1件増、サポーター登録者11名増、依頼案件17件、マッチング15件（うち不成立2件含む）、派遣延べ人数250名

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

カ 農福連携マッチング等支援事業

障がい者の就労機会の確保・工賃向上、農業の担い手の確保という課題解決のために農福連携の推進が必要であることから、神奈川県は地域の中間支援組織と協働で農福連携コーディネーター（以下、コーディネーター）養成事業を実施している。（3年間の時限事業の初年度）藤沢地区においては当団体が本事業を担っている。

業務内容：コーディネーター人材育成研修講座、先進事例視察スタディツアーの実施、障がい福祉サービス事業所・社会福祉法人・障がい者を雇用する企業等と、農業者とのマッチングの場づくり、マッチング成立後のコーディネーターの派遣に関する事務

※養成講座修了生 18名。初年度マッチング成立件数は無かったが、今後に向けて名簿の作成や関連情報の収集のため藤沢市農水課協力のもと、市内事例調査等を実施している。

- ①日時 2020年4月1日～2021年3月31日
- ②場所 湘南台公民館、フジサワラボ、プロ雅農園、元気もりもり山森農園、にこにこ農園（農作業委託：（N）さんわーくかぐや）、相原農場
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 農福連携に興味関心のある福祉作業所や農家、一般市民等

キ 関連委員会、審議会への参加

市民活動の理解を促進することを目的に、藤沢市をはじめ、各行政機関の設置する市民活動関連委員会・審議会(※)に参加協力した。

- ①日時 年間
- ②場所 会議等開催場所
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民

※参考：関連委員会・審議会等

- 全国
 - ・民間 NPO 支援センター・将来を展望する会
 - ・「新型コロナウイルス」NPO 支援組織社会連帯 (CIS)
 - ・ICT 支援者ネットワークミーティング
- 神奈川県
 - ・神奈川県支援施設 CEO ミーティング
 - ・神奈川県内認定・指定ゆるやかなネットワーク
 - ・地域ボランティアエアポート連絡会
 - ・かながわ人生 100 歳時代ネットワーク会議
- 藤沢市
 - ・藤沢市市民活動推進委員会
 - ・藤沢市シティプロモーション委員会
 - ・藤沢市情報公開制度運営審議会
 - ・藤沢市生涯学習大学評議会
 - ・藤沢市ワークライフバランス会議
 - ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会
 - ・上記支援委員会内ボランティア等市民参加推進部会
 - ・公益財団法人藤沢市まちづくり協会評議委員会
 - ・湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会
 - ・藤沢市社会教育委員会
 - ・藤沢市生涯学習推進委員会
 - ・藤沢市青少年育成委員会
 - ・北部各地区郷土づくり推進会議
 - ・藤沢市青少年問題協議会
 - ・藤沢市民まつり実行委員会
- 他市等
 - ・(仮称) 鎌倉市市民活動推進条例検討会
 - ・横須賀市市民協働審議会
 - ・座間市市民参加審議会
 - ・綾瀬市市民活動推進委員会
 - ・新宿区市民協働拡大委員会
 - ・NPO インターンシップラボ実行委員会

(5) 市民参加によるまちづくり推進事業

ア 多様なセクターの協働によるまちづくり推進事業（藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

個人・非営利組織・営利組織問わず、社会の利益に資する活動をするものの仲介を実施することで協働を推進し、まちづくりの推進に寄与した。

仲介者として「協働コーディネーター」を2名設置し、市民活動団体と様々な主体が相互に協調・連携して地域課題の解決への取り組みができるよう、コーディネーションを行った。協力先の開拓(通年)、団体のマッチングと調整(計12回)、事業計画策定の支援(計2回)と、ミライカナエル活動サポート事業の協働コースに係る選考・審査の支援を行った。

(委託事業名：ミライカナエル活動サポート事業コーディネート業務委託)

企業との相談・アドバイスをを行った他、ウスイホーム(株)の発行している情報誌への藤沢地区の情報提供や、(株)伊藤園とのチャリティベンダー(社会貢献型自動販売機)設置サポートは継続して行っている。

- | | |
|--------|------------------------|
| ①日時 | 年間 |
| ②場所 | 藤沢市内および近隣 |
| ③従事者人員 | 4名 |
| ④受益対象者 | 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの |

イ 地域グループ支援事業

藤沢市高齢者の通いの場事業として「みんなのサロン ゆくり庵」を運営し、様々なプログラムや講座を通して地域の活性化と高齢者がいきいきと暮らせるよう活動を続け、年間延べ352名の利用があった。2020年度も新型コロナウイルスにより閉所せざるを得ない時が続き、2020年4月から6月までは閉所。7月から12月までは時間を短縮するなど、感染予防対策を徹底し開所出来たが、2021年1月より3月迄再び閉所の指示が出た。閉所中でも利用者同士やスタッフと繋がれる様に「Zoom」や「LINEの使い方」等の講座を実施した。なお、藤沢市の事業見直しを鑑み、検討を重ねた結果、2020年度でゆくり庵事業は終了することとなった。

- | | |
|--------|---------------------------|
| ①日時 | 年間(開所日数82日) |
| ②場所 | 藤沢市藤沢644番地 |
| ③従事者人員 | 6名 |
| ④受益対象者 | 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民 |

ウ 「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」 運営事業

オリンピック・パラリンピックを藤沢から盛り上げる「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」の運営を行った。事務局運営の他、情報発信(LINE:51回、メルマガ:41回、広報誌:3回)、団員企画の活動サポート(全13回)、サポーターズミーティングの開催(全6回)、応援団イベント・参加型キャンペーンの実施(全2回)、応援団オリジナルのガイドブック作成等の活動を行った。(委託事業名:「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」事務局運営等業務委託)

- ①日時 年間
- ②場所 団体事務所、各イベント会場等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

エ イベント等参加支援事業

他セクターとの協働を促進し、市民活動の普及を図ることを目的に、藤沢市内でのイベントを中心に参加支援を行った。

藤沢市民まつりや市内商店会に協力し「Go To 商店街」などに参画し、市民活動団体への参加機会提供に動いたが、緊急事態宣言の影響により中止や延期となった。その代替として、活動のPR動画を制作・披露する機会を作り、市民活動団体15体のPR支援を実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体およびその関係

3 その他

ア 会議の開催(総会・理事会等)

理事会:2020年5月2日(土) Zoom(オンライン)

2020年6月27日(土) フジサワラボ及び Zoom(オンライン)

通常総会:2020年6月27日(土) フジサワラボ及び Zoom(オンライン)